

前橋育英 男子

県立広島皆実 男子

No: 番番号 PTS: 得点 AVG: 1試合平均得点 M: 成功数 A: 試投数 %: 成功率 2P: 2ポイントシュート 3P: 3ポイントシュート DK: ダブル FT: フリースロー RBD: リバウンド OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド TOT: 合計 AST: アシスト STL: スティール BLK: ブロックシュート TO: ターンオーバー PF: パーソナルファウル、クリア・パス・ファウル、アウェイ・フロム・ザ・プレイ・ファウル、フレイグラント
ファウル、バチンガファウル TOT: 合計 2K: アクション・ファウル FO: フォール・オン・DQ: 退場時間 MIN: 試合出場時間



第1P、両チームハーフコートマンツームでゲーム開始。序盤、両チームの激しいディフェンスの中、広島皆実#5のドライブイン、前橋育英#6のジャンプシュートなどで両チーム点数を重ねていく。残り3分、点数が伸びない広島皆実は堪らずタイムアウト。しかし流れは変わらず15対8で第1P終了。第2P、広島皆実がバックアップルール、速攻で点数を重ね、追い上げる。残り7分、流れを替える為、前橋育英がタイムアウト。広島皆実#3の後も早い展開で得点を重ね、26対32広島皆実リードで前半終了。第3P、前橋育英#6の3Pを境に外のシュートが決まり、点差を縮める。広島皆実も#5の個人技、#8の3Pなどで流れを渡さない。残り3分、#5のアリウープシュートが決まり、前橋育英がタイムアウト。勢いは止まらず40対57で終了。

第4Pに入っても広島皆実の流れは変わらず速攻、#8を中心にインサイドを攻め、得点を重ねる。残り7分、前橋育英がタイムアウト。前橋育英がオールコートマンツーマンに落ち、その後早い展開から3本連続でシュートを決め追い上げる。残り6分、今度は広島皆実がタイムアウト。リバウンドからセカンドシュートを落し着いて決め流れを渡さず60対77で広島皆実が勝利した。

文責:川瀬智之

主審	堀内 昌浩	副審	坂 高志
副審		副審	
スコアラー	橋高校	サブスコア担当者	